

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成28年度)

施設名	県立芸術劇場(メディキット県民文化センター)
指定管理者	公益財団法人宮崎県立芸術劇場
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日(5年間)
県所管部課	総合政策部 みやざき文化振興課

1 施設利用状況

指標	H28	H27	H26	増減理由等
施設利用者数	250,971	225,517	234,361	貸館利用者数の増加による。
利用率(ホール)	79.1%	79.7%	77.7%	
利用率(練習室)	91.5%	92.1%	91.7%	
コメント	貸館利用者の増加等により施設利用者は増加している。また、練習室の利用率については、指定管理者制度導入以降9割を超え高い稼働率を維持しており、ホールの利用率についても、ほぼ例年並みの水準を保っている。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H28	H27	H26	支出	H28	H27	H26
指定管理料	464,089	420,511	420,511	人件費	116,180	109,951	100,791
委託料	119,880	49,434	214,925	事業支出	588,630	631,585	571,243
利用料金収入	54,912	58,280	56,563	県納付金(寄附金)	566	1,743	885
基金取崩収入	15,000	57,941	42,000	修繕費	125,301	29,379	227,232
その他事業収入	177,925	177,031	169,866	その他経常支出	197	241	7
合計(①)	831,806	763,197	903,865	合計(②)	830,874	772,899	900,158
収支差額(①-②)	932	-9,702	3,707				
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料のうち県民文化振興事業については、第三期(H28～H32)から新たに予算措置がされたため増額となった。</li> <li>委託料は、大規模改修に伴う委託料である。</li> <li>基金取崩収入は海外招聘公演等を低廉な価格で提供するため文化事業基金の取り崩しで実施した。</li> <li>県納付金は、利用料金収入が基準額を上回ったことによる。(超過額の1/2を納付、利用料金収入は、県納付額を含む。)</li> </ul>						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成28年度に新たに取組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	中央監視	電気、空調、給排水衛生等設備の運転操作、日常巡視点検
	清掃	日常清掃、定期清掃(2回)、特別清掃(ガラス、カーペット)
	保守・点検	舞台機構・照明・音響設備・空調機械、消防用設備
	警備	常駐警備
	修繕	県の改修実施計画を踏まえた修繕計画に基づき修繕を実施(平成28年度はホールカーペットほか更新)
	備品等管理	ピアノ等定期点検実施
	安全対策	危機管理マニュアル整備(地震・火災)、安全管理日常点検、避難訓練コンサートの開催
	その他	光熱水費削減
企画運営業務	サービス提供体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸館利用者をサポートするコーディネーターの強化、充実</li> <li>インターネットを利用したチケット予約システムの設置</li> <li>ホームページのお問い合わせフォームや意見箱からのお客様の声への迅速な対応</li> <li>接遇研修等によるサービス向上</li> <li>近隣店舗とタイアップしたグルメマップの制作</li> </ul>
	イベント等ソフト面充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主文化事業の充実(公演内容の充実、県民等への芸術文化活動支援、県内公共ホールとの連携強化)</li> <li>宮崎県公立文化施設ポータルサイトの開設</li> <li>テレビ、ラジオ等におけるパブリシティの充実</li> <li>ホームページの充実</li> <li>フェイスブックの活用</li> <li>友の会会員への広報活動強化</li> </ul>
	施設設備等ハード面充実	空調設備取替
	その他	劇場の見学者を増やすために、美術館・図書館・博物館と連携しての4館見学ツアーを実施
管理運営体制	26名(県派遣職員2名、正職員24名(平成28年4月1日現在))	
コメント	県民の芸術文化活動の拠点として、宮崎国際音楽祭をはじめ良質な文化芸術を提供するとともに県民に愛される劇場づくりに努めることができています。また、施設の経年劣化が進んでおり、計画的かつ効率的な改修に努めたい。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
貸館利用者へのアンケートでは、スタッフの対応への評価が高く、コーディネーター制度を充実させたことが、利用者の満足につながっている。自主事業では、著名俳優が出演する演劇公演への評価が高かった。	新たな観客の獲得のため、幅広いジャンルの音楽公演や、話題性の高い演劇公演を引き続き実施していくとともに、親子で参加できる公演など、様々なライフスタイルに応じた企画を実施していく。
駐車場不足のため、来館者からの苦情がたえない。	美術館、図書館とも連携しながら、臨時駐車場の確保や誘導に努めた。

5 総合評価

評価コメント	第三期指定管理期間で目指している「顔の見える、親切な劇場」に取り組んだ結果、施設利用者数は前年を大幅に上回り、ホール及び練習室ともにほぼ例年並みの水準を保つなど、取組の成果が表れており、指定管理者制度導入の目的である利用者サービスの向上については、一定の成果が得られたと考えている。
今後の課題と対応	広報の更なる強化により、自主事業の県民への周知を図る。また、利用者サービスの更なる向上と、新たな利用者の獲得に努めることで、県民の芸術文化活動の拠点としての役割を果たし、劇場運営の安定化に努める。駐車場不足については、引き続き文化公園全体の問題として取り組んでいく。